

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	民法V	2	黒澤 英明	
平成25年度以前	債権各論	4		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):法律学(国際法を含む)政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
<p>授業の到達目標は、債権・債務関係がどのような場合に発生するのか、他人との間で契約や損害賠償をめぐって争いとなったときにどのように解決されていくのかなど、債権各論の各制度を理解するとともに、その概要を説明できるようになることとします。また、教職課程履修者向けに中学校・高等学校における民法・債権各論教育の目標・方法等についても講義します。</p>				共通
授業の概要				専門基礎
<p>この授業では、民法のなかでも債権各論をとりあげ、どのような場合に債権・債務関係が発生するのかをみていきます。とくに、当事者間の合意による契約や、他人への加害行為による損害賠償(不法行為)などを中心に、なるべく具体的な問題を念頭におきながら、その基本原則とそれらに関する法律問題を取り扱います。</p>				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回:債権各論の対象、中学校・高等学校における民法・債権各論教育のあり方／契約総論①:序説</p> <p>第2回:契約総論②:契約の成立・効力(同時履行の抗弁権・危険負担)</p> <p>第3回:契約総論③:契約の解除／契約各論①:序説・贈与</p> <p>第4回:契約各論②:売買(手付・担保責任)</p> <p>第5回:契約各論③:特殊の売買(クーリング・オフ)・買戻し・交換</p> <p>第6回:契約各論④:消費貸借・使用貸借</p> <p>第7回:契約各論⑤:賃貸借</p> <p>第8回:契約各論⑥:雇用・請負・委任</p> <p>第9回:契約各論⑦:寄託・組合・終身定期金・和解</p> <p>第10回:事務管理／不当利得</p> <p>第11回:不法行為①:序説・基本原則</p> <p>第12回:不法行為②:一般の不法行為</p> <p>第13回:不法行為③:権利(法益保護)の諸類型(人格的利益の保護・生活妨害)</p> <p>第14回:不法行為④:特殊の不法行為(使用者責任・共同不法行為)</p> <p>第15回:不法行為の効果</p> <p>定期試験</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
藤岡康宏ほか『民法Ⅳ 債権各論[第3版補訂] 有斐閣Sシリーズ』(有斐閣・2009年)				25年度以前 法律一般コース
参考書・参考資料等				
<p>内田貴『民法Ⅱ 第3版 債権各論』(東京大学出版会・2011年)</p> <p>中田裕康ほか『民法判例百選Ⅱ 債権[第6版]』(有斐閣・2009年)</p>				
学生に対する評価				演習
期末試験により評価します。				